

令和3年度 第1回 名古屋市環境影響評価審査会
会議録

1 開催日時

令和3年8月31日（火）午後2時～午後3時45分

2 開催場所

市役所大会議室（東庁舎5階）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、審査会委員はWEB会議システムにより参加

3 出席者

(1) 審査委員（五十音順、敬称略）

石井 仁	（名城大学教授）
市野 良一	（名古屋大学教授）
片山 直美	（名古屋女子大学教授）
佐野 泰之	（愛知工業大学教授）
鈴木 康弘	（名古屋大学教授）
都竹愛一郎	（名城大学教授）
夏目 知道	（愛知県立芸術大学准教授）
西田佐知子	（名古屋大学准教授）
橋本 啓史	（名城大学准教授）
藤田 素弘	（名古屋工業大学教授）
洞澤 秀雄	（南山大学教授）
増田 理子	（名古屋工業大学教授）
森泉 純	（名古屋大学准教授）
横田久里子	（豊橋技術科学大学准教授）

計14名

(2) 事務局 地域環境対策部長始め5名

(3) 傍聴者 1名

4 議事及び意見等の要旨

事務局より、今回の審査会の出席者が14名であり、審査会が成立していることを確認した。また、本日のスケジュールについて簡単に説明した。

議題 会長及び副会長の選出

[事務局] それでは、議題「会長及び副会長の選出」に入りたいと思います。

会長の選出は、審査会規則第2条第2項の規定により、「委員の互選」によるものとされております。まずは、どなたか、会長に立候補あるいはご推薦はございますでしょうか。

[委員] 推薦させていただきます。

前回の審査会まで副会長を務めていただきました市野委員に会長をお願いできたらと思います。

[事務局] ありがとうございます。

ただ今、市野委員を会長にご推薦いただきましたが、皆様いかがでしょうか。ご異議が無いようでしたら、拍手をもってご賛同いただけますでしょうか。

[委員] （拍手）

[事務局] ありがとうございます。

市野委員、お引受けいただけますでしょうか。

[委員] 引受けさせていただきます。よろしくお願ひします。

[事務局] ありがとうございます。それでは、本審査会の会長には市野委員を選出することといたします。

続きまして、副会長の選出についてです。副会長につきましても、「委員の互選」によるものとされており、ご推薦はこれまで会長にお願いしておりましたので、今回も市野新会長にお願いしたいと存じます。皆様いかがでしょうか。もしご異議が無いようでしたら、拍手をもってご賛同いただけますでしょうか。

[委員] (拍手)

[事務局] ありがとうございます。

それでは、会長、どなたかご推薦いただけませんかでしょうか。

[会長] よろしければ、佐野委員に副会長をお引受けいただきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

[事務局] ただ今、佐野委員を副会長にご推薦いただきましたが、皆様いかがでしょうか。ご異議が無いようでしたら、拍手をもってご賛同いただけませんかでしょうか。

[委員] (拍手)

[事務局] ありがとうございます。

佐野委員、お引受けいただけますでしょうか。

[委員] 僭越でございますが、引受けさせていただきます。

[事務局] ありがとうございます。それでは、本審査会の副会長には佐野委員を選出することといたします。

恐縮でございますが、新会長、新副会長からそれぞれ一言ずつご挨拶をいただきたいと思ひます。

[会長] 会長を仰せつかりました名古屋大学の市野と申します。私は未来社会創造機構のマテリアルイノベーション研究所に属しており、主に金属材料の表面処理、鍍金から始まりまして、非鉄精錬や金属リサイクル、さらにはそのプロセス全体を取り巻く排水処理といったところの環境の浄化を専門としております。

名古屋市の環境影響評価審査会をより良いものにしていきたいと思ひますので、委員の先生方のご協力をよろしくお願ひいたします。

[事務局] ありがとうございます。

次に、副会長、お願ひできますでしょうか。

[副会長] 改めまして、愛知工業大学の佐野でございます。専門は騒音、振動でございます。

今後、会長並びに委員の皆様の議事が深まりますよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

[事務局] ありがとうございます。

それでは、以後の議事の取り回しにつきましては、審査会規則第3条第1項の規定に基づき、会長にお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

報告1 みなとアクルス開発事業に係る事後調査結果中間報告書(工事中)(その2)について

[会長] それでは、議事に入りたいと思ひます。

まず、「みなとアクルス開発事業に係る事後調査結果中間報告書(工事中)(その2)」について、事務局から報告をお願いいたします。

[事務局] (みなとアクルス開発事業に係る事後調査結果中間報告書(工事中)(その2)について説明)

[会長] どうもありがとうございます。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願ひします。

[委員] 図書の109ページの廃棄物について2つ質問があります。

まず、1つ目の質問ですが、木くずが予測の15倍程度も出ていて、この理由について伐採木等が入ったからと書いてあったのですけれども、予定していた以上に木をたくさん切ったと考えて良いのでしょうか。

[事務局] 細かいところまでは把握しておりませんが、文章からはそのように読めるかと思いません。

[委員] 最初の予定より悪い方向に緑の改変が行われていないかを事業者に聞き、もし、そういうことでしたら、そのようなことが無いよう強く伝えていただきたいと思います。

[事務局] 事業者を確認し、回答があれば報告させていただきます。

[委員] お願いいたします。

2つ目ですが、その他混合廃棄物も30倍程度が出ていて、理由は経年劣化したものが多くて分別できなかった、ということでしたが、それは予測できたのではないかと思います。予測では分別し再資源化等するとしておいて、実際には全て埋め立てました、とならないよう、今後はきちんと予測をし、事前の審査の時に出して欲しい、ということも伝えていただけたらと思います。

[事務局] ありがとうございます。今、いただいたご意見につきましては、事業者にしっかり伝えさせていただきます。

[委員] 以上です。ありがとうございました。

[委員] この計画は遅れが出ているのでしょうか。それによっては、先程の廃棄物等々がさらに増え、埋め立てられる量も増えることになると思うので、終わる時期について大体の予想があれば教えていただきたいです。

[事務局] 工事計画をご覧ください。図書を提出いただいた令和3年1月の時点では、令和6年8月までとされていたのですけれども、事業者に聞いたところ、やはりこのコロナ禍で工事が遅れているとのことですので、順次、報告させていただければと思います。

[委員] ありがとうございます。

[会長] 他に何かありますでしょうか。

報告2 空見スラッジリサイクルセンター建設事業に係る事後調査結果中間報告書（工事中）（その3）について

[会長] それでは、2件目の報告事項に移りたいと思います。「空見スラッジリサイクルセンター建設事業に係る事後調査結果中間報告書（工事中）（その3）」につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

[事務局] （空見スラッジリサイクルセンター建設事業に係る事後調査結果中間報告書（工事中）（その3）について説明）

[会長] どうもありがとうございます。ただ今のご報告につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

[委員] スラッジの場合、恐らく重金属も出てくると思うのですけれども、鉛、砒素、ほう素、ふっ素以外については調べていないのでしょうか。

[事務局] 空見スラッジリサイクルセンターは、水処理センターから送られた下水汚泥を脱水し、処理するところなのですが、特に他の重金属等が発生するとはされていないため、調べておりません。

[委員] 今では体温計もデジタル式になり水銀が出てくることは無くなったとは思いますが、こういう活性汚泥では、大概、重金属もしっかり調べていると思ったのですが、いかがでしょうか。

[事務局] 環境影響評価書には、特段、記載されていません。

[委員] ありがとうございました。

[会長] 他に何かございますでしょうか。

[会長] 先程と同じように、今後、工期が長くなると廃棄物の総量が多くなるということがありますので、確認しておいていただければと思います。

[事務局] 承知いたしました。

[会長] 他に何かございますか。よろしいでしょうか。

報告3 名古屋都市計画道路3・3・14号椿町線に係る事後調査結果報告書（供用開始後）について

[会長] それでは、報告の3件目に移りたいと思います。「名古屋都市計画道路3・3・14号椿町線に係る事後調査結果報告書（供用開始後）」につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

[事務局] （名古屋都市計画道路3・3・14号椿町線に係る事後調査結果報告書（供用開始後）について説明）

[会長] どうもありがとうございます。ただ今のご報告につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。

[委員] 道路ですので、大気汚染と騒音、振動の影響が主になると思うのですけれども、令和2年はコロナ禍であり、緊急事態宣言等により交通量が通常よりも少なかったことが予想されます。その分、負荷が軽かったことが結果に反映されたと思われまので、若干、特殊な条件で調査された結果であるということに留意しておく必要があるかもしれないと思いました。

[事務局] ありがとうございます。確かにコロナ禍での調査ですので、ご指摘の点について事業者へ伝え、評価をしていく必要があるのかなと思います。

[委員] これから先、新たに歩道橋を作る予定は無いのでしょうか。エレベーター付きの歩道橋だと1億を超えると聞いたことがありますが、牧野小学校の通学路もありますし、新たに作る可能性はあるのでしょうか。

[事務局] こちらの道路はまだ出来たばかりですので、これからすぐに作るということは無いと思いますし、事業者からもそういったことは聞いておりません。今後、地元等からご要望が出て来た場合は、市として検討することになると思います。

[会長] 他にございますでしょうか。

[委員] 先程の質問と似たようなものになるのですけれども、椿町線を通ると、意外と空いているな、という印象を受けます。数年経ってもこれ位の交通量なのか、まだあまり知られてなくて少ないのか、どちらでしょうか。

また、黄金インターで降りたバスは、以前のように黄金橋を通過して西から名古屋駅へ向かっています。距離的には椿町線を使った方が近いと思うのですけれども、今後も停留所の関係もあり今のルートを使うのか、ということについてお聞かせ願います。

さらに、排水性舗装の敷設により環境基準等を満足したとのことですが、排水性舗装は目詰まりして性能がどんどん落ちますから、きれいな時の状態で予測しているのか、それとも、ある程度の年数が経った時でも大丈夫のように予測しているのかがもし分かれば、教えていただきたいです。なお、今後、後者のようにした方が我々としては安心だと思います。よろしくお願いします。

[事務局] ありがとうございます。まず1点目については、予測と比較し実際の交通量がどうだったのかについて、事業者の確認をしたいと思います。

2点目のバスの名駅へのアクセスについては、名古屋市ですと交通局で路線を設定しています。新たに道ができるということで、何らか検討はされていると思いますが、事業者を通して確認したいと思います。

3点目の排水性舗装の経年劣化については、施工後の経過年数に応じて騒音の低減効果が減少する予測式となっていますが、事業者からは、経過年数を2年に設定して予測計算しているというように聞いたと記憶しています。

[委員] 考慮いただいているということですので安心しました。ありがとうございます。

[会長] 交通量の変化が振動や騒音の結果に響くということは、確かに、おっしゃる通りかと思えます。

他に何かございますでしょうか。

[委員] 透水性舗装の効果が低減し、騒音が大きくなりましたら、順次、メンテナンスをされるということでもよろしいでしょうか。

[事務局] 定期的にメンテナンスを行っていくと聞いておりますので、騒音の低減効果が無くなるようにメンテナンスが行われるものと考えております。

[委員] 分かりました。

[会長] 他にございますでしょうか。

よろしかったでしょうか。

報告4 御園座タワー建設事業に係る事後調査結果報告書（供用開始後）について

[会長] それでは、本日最後の報告に移らせていただきます。「御園座タワー建設事業に係る事後調査結果報告書（供用開始後）」につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

[事務局] （御園座タワー建設事業に係る事後調査結果報告書（供用開始後）について説明）

[会長] どうもありがとうございます。ただ今のご説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

[委員] 図書の3ページの事業の概要に、共同住宅の戸数が書いてありませんが、調査時の入居率は、どの位だったのでしょうか。と言いますのは、廃棄物や二酸化炭素の排出量について、削減がうまくいったとのことでしたが、入居率が低いといったようなことが原因ではないのかを確認するために質問します。

[事務局] 御園座タワーの共同住宅につきましては、全部で304戸あります。事業者を確認したところ、入居率や公演数等が計画より低いということはない、と聞いております。

なお、廃棄物等の調査はコロナ禍の前に全て終わっておりまして、風害の苦情の関係だけ引き続き調査をしていた、という状況です。

[委員] 分かりました、それでしたら結構です。ありがとうございました。

[会長] 他に何かございますでしょうか。

よろしかったでしょうか。

その他

[会 長] ありがとうございます。本日、予定されていた議事は以上ですけれども、事務局から何かございますでしょうか。

[事務局] 本日も熱心にご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。
次回の審査会につきましては、決まり次第ご連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

[会 長] それでは、これもちまして、本日の審査会を終了したいと思います。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。